



議会だより

<https://www.city.mitoyo.lg.jp/gikai/>

5
2025年
月号
No.59

三豊市

議会だより 2025年 5月号

令和7年5月1日発行



3月定例会

- ②税金の使いみちが決まりました ④臨時会概要・委員会審査 ⑤議案報告 ⑥副議長挨拶 ⑦審議結果 ⑧議員研修会・議会報告会
- ⑨代表質問 ⑩一般質問 ⑪委員会審査 ⑫視察研修報告 ⑬中学生議会傍聴 ⑭議会防災訓練 ⑮スポーツ少年団

○ 今月の三豊市民 辻 ひとみさん
(ニオノチルビレッジ発起人)

松崎剣友クラブ

私たちは剣道を正しく真剣に学び、心と体を鍛え社会に役立つ人になること、そして心豊かな人間の育成のために礼儀正しい子どもから大人になることを目標に練習をしています。

また、クラブ活動としては、夏の合宿、クリスマス会、6年生を送る会など、楽しい交流会を開催しています。

私たちといっしょに剣道をしましょう。
お待ちしております。



活動場所：松崎小学校体育館

活動日時：火・金曜日

19時30分～21時

問合せ先：090-4786-0571 (続木)

詫間新体操ポップコーンクラブ

ミッキー新体操クラブの藤田利佳先生を講師に招き、小学生クラスと幼児クラスに分かれて活動しています。ダンスやマット運動、手を使った新体操の練習など、柔軟も無理のない範囲で楽しく行っています。新体操は体の柔軟性はもちろん、基礎的な身体能力や運動能力が身につきリズム感や表現力が養われる所以、幼児クラスからの入団がお勧めです。

いつでもお気軽に見学にお越しください。お待ちしております。



活動場所：詫間町体育センター

活動日時：月曜日

幼児 17時～18時

小学生低学年 18時～19時

小学生高学年 18時～19時30分

問合せ先：090-2898-7175 (真鍋)

暖かな陽射しに包まれ、新緑が美しい季節になります。今年度では、地域の課題や政策の進捗を取り上げ、住民の皆さんに寄り添う議会活動をお伝えしています。市制20年を迎える記念すべき年、地域発展に向けて皆さんと一緒に歩んでまいります。

編集後記

(籠本)

QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧になれます

※QRコードは㈱デンソーウエーブの登録商標です

湯口 岩田 瀧本 近藤 三谷
石井 水眞 勢三 勢奈美 哲史 正史
委員長 副委員長 委員長 副委員長 委員長

議会広報委員会

発行・編集
三豊市議会・議会広報委員会 〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1
TEL.0875-73-3009 FAX.0875-73-3024 E-mail gikai@city.mitoyo.lg.jp

スポーツ少年団紹介



今月の三豊市民

辻ひとみさん (ニオノチルビレッジ発起人)



仁尾町の珈琲スタン
ドのある古民家に「ニ
オノチルビレッジ」を立
ち上げた辻さん。

子どもたちが小さな
頃から多様な価値観
に触れられる居場所を
作りたい!と、毎週土曜日に駄菓子屋さんや小さな図書
館をオープンしています。ぜひ一度訪れてみてください。
表紙は3月に開催された「チルビレッジファッショントーク」に
参加した子どもたちと共に。

(取材:湯口)

VEGETABLE
SIL INK
環境に優しい植物油インクを
使用しています。

高瀬駅トイレ等整備事業



【事業費 1億4,053万3千円】
JR高瀬駅におけるパブリックスペース、トイレおよび駐輪場の整備工事を行う。

造船所跡地多目的広場整備事業



【事業費 1億8,803万3千円】
造船所跡地を多目的広場として整備する工事を行う。

市民センター詫間(仮称)整備事業



【事業費 7億7,493万4千円】
市民センター詫間(仮称)の整備に係る建築工事を行う。

民間住宅耐震対策支援事業



【事業費 2,300万円】
旧耐震基準*で建てられた民間住宅の耐震対策費用(耐震診断、耐震改修工事等)の一部を助成する。

防災一般費



【事業費 2,767万7千円】
大規模災害に備え、非常用物資の計画備蓄を行うとともに、自主防災組織を育成強化し、地域防災力の向上と減災を図る。

豊中地区新設小学校建設事業



【事業費 33億3,059万2千円】
豊中地区新設小学校の整備に係る校舎・屋内運動場等の建築工事を行う。

認知症総合支援事業



【事業費 152万9千円】

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会の実現を目指し、さまざまな取り組みを行う。

民間危険ブロック塀等撤去支援事業



【事業費 192万円】

ブロック塀等の倒壊による人的被害の防止および避難経路の確保を図るために、道路に面した危険な民間ブロック塀等を所有者が撤去する場合に一定額を助成する。

妊婦等包括相談支援事業



【事業費 4,018万8千円】

妊婦等のための支援給付を実施し、妊娠期から妊娠婦に寄り添い、安心・安全な子育て環境を整える。

国際バカロレア教育導入事業



【事業費 976万8千円】

探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的とする国際バカロレア教育の導入に向けて引き続き取り組む。

地球温暖化対策事業



【事業費 3,000万円】

住宅用太陽光発電システム、蓄電システム、V2H*機器設置、次世代自動車の購入およびZEH*への補助を行う。

市の予算は議会でしっかりチェック!

令和7年度の税金の使いみちが決まりました

3月定例会では市長から提出された予算案について、予算特別委員会を設置し、市長や執行部に質疑を行い審査を行いました。

令和7年度は合併特例債の発行期間の最終年度であり、当該市債を活用した大型建設事業を予算化しています。一方で、将来的な財源状況等を勘案した適正な歳出規模への計画的管理が不可欠であることから、財政見通しに基づく予算管理を行うなど財政健全化に向けて取り組みつつ、また事務事業全般について見直しを行いました。必要最小限の経費で最大の行政効果が發揮できるよう限られた財源の重点的・効率的な配分を行う予算編成をしたとの説明がありました。

今回の主な新規事業と重点施策を紹介します。また、委員会での質疑については20ページに掲載しています。

令和7年度 予算

一般会計	458億5,000万円
特別会計	170億3,900万円
企業会計	29億1,315万5千円

原案
可決

令和7年度 主要新規事業・重点施策

豊中地区放課後児童クラブ整備事業



【事業費 2億2,836万6千円】
豊中地区放課後児童クラブの整備に係る建築工事を行う。

松崎地区就学前施設(仮称)整備事業



【事業費 8億1,156万6千円】
松崎地区就学前施設(仮称)の整備に係る建築工事を行う。

消防施設一般経費



【事業費 3億2,565万9千円】
三豊市消防団再編計画に基づき、屯所の建て替えや車両の更新等を行う。

*旧耐震基準…昭和56年以前の耐震基準

*V2H…電気自動車に貯めた電力を自宅に供給するシステム

*ZEH…住宅で使用する一次エネルギーの年間消費量がおおむねゼロの住宅

○議員派遣	○議員提出議案	○人事案件	○その他の市長提出議案	○条例に関する議案	○令和6年度予算	○令和7年度予算	○令和6年度補正予算	○令和7年度補正予算
1件可決	2件可決	7件同意	1件可決	16件可決	11件可決	11件可決	次のこと	次のこと

今定例会では
次のことが決まりました

令和7年 第1回 定例会の概要

【会期 2月26日～3月24日(27日間)】

補正 令和6年度3月補正予算 可決

○一般会計	1億7,033万3千円増↑ 402億1,811万6千円
○国民健康保険事業特別会計	1億9,851万5千円減↓ 70億5,962万3千円
○国民健康保険診療所事業特別会計	1,094万1千円減↓ 1億6,145万7千円
○後期高齢者医療事業特別会計	652万3千円減↓ 12億9,475万1千円
○介護保険事業特別会計	6,609万円減↓ 80億5,255万3千円
○介護サービス事業特別会計	100万円減↓ 8,300万円
○浄化槽整備推進事業特別会計	280万円増↑ 2億3,697万5千円
○港湾整備事業特別会計	148万1千円減↓ 2,155万7千円
○国道用地先行取得事業特別会計	4,900万2千円減↓ 4億4,337万円
○病院事業会計	2,070万4千円増↑ 27億367万2千円
○集落排水事業会計	330万9千円減↓ 2億2,607万7千円

一般会計補正予算(第6号)

- 市内5中学校屋内運動場
空調設備等整備事業
市内5中学校屋内運動場施設断熱改修および空調設備整備工事を行うために必要な経費、4億6,032万2千円の補正。
- 避難所環境改善事業
避難所の生活環境改善をはじめ、地域の防災・減災の向上に必要な車両・資機材の購入等に必要な経費、8,198万2千円の補正。
- 病院会計繰出金等
みとよ市民病院の運営にかかる経費(貸付金)、2億3,000万円を補正。

議案
Pick Up



補正

令和6年度 1月臨時会補正予算

○一般会計

3億9,353万2千円増↑
400億4,778万3千円

可決

令和7年 第1回 臨時会の概要

【会期 1月30日】



令和7年第1回臨時会

■議場にいた全員が賛成した議案

議案名等	
議員派遣について	

■賛否が分かれた議案

議員名	議決結果																					
	1湯口新	2田中達也	3三谷正史	4近藤武強	5横川洋介	6市川勢三	7石井文吉	8水本真奈美	9込山研二	10高木秀樹	11丸戸善伴	12岩田哲史	13城中秀樹	14灘本彰人	15城中秀樹	16為広彰人	17西山静雄	18浜口彰人	19詫間秀樹	20三宅彰人	21金子静雄	22三宅彰人
令和6年度三豊市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠

*○:賛成 ●:反対 欠:欠席 退:退席 除:除斥 ※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。(議長 11番 丸戸 研二)

主な質疑と答弁

委員会審査報告

令和6年度三豊市一般会計補正予算 (第5号)



みはあるのか。

答 今年度、金融機関や商工会などたくさんの方に地域ぐるみで協力をいただき事業を進めた。その2年目の事業として同様に地域の方々の協力を得て、市内事業者に制度を利用してもらおう予定なので、全額執行できると考えている。

【総務常任委員会】 物価高騰生活応援事業 (Mitopayプレミアムポイント事業)

できるだけ多くの市民が対象となるべきだと考えるが、なぜ商品券にしないのか。

問 できるだけ多くの市民が対象となるべきだと考えるが、なぜ商品券にしないのか。
答 チャージ店舗と利用店舗を拡大し、介護予防教室などで説明するなど普及に努めてきた。また、高齢者を含めて市民全体のデジタル化を進めることも合わせてMitopayを活用して取り組んでいます。

問 できるだけ多くの市民が対象となるべきだと考えるが、なぜ商品券にしないのか。
答 チャージ店舗と利用店舗を拡大し、介護予防教室などで説明するなど普及に努めてきた。また、高齢者を含めて市民全体のデジタル化を進めることも合わせてMitopayを活用して取り組んでいます。

【市民建設常任委員会】 省エネルギー設備導入等支援事業

問 今回の補正予算是来年度に繰り越すこととなることだが、予算を全て執行する見込

以上、各委員会とも慎重な審査により原案どおり可決した。

問 住民税非課税世帯に対しての3万円の支給と、18歳以下の児童1人当たり2万円の支給についての基準日である令和6年12月13日は、その時点で18歳であるかどうかの基準日なのか。

答 今年度18歳の方々は全員が対象になる。12月13日に住民登録があるかどうかの基準日である。

【教育民生常任委員会】 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業

みはあるのか。



さんの方に地域ぐるみで協力をいただき事業を進めた。その2年目の事業として同様に地域の方々の協力を得て、市内事業者に制度を利用してもらおう予定なので、全額執行できると考えている。

3月6日・7日の2日間に各会派を代表して、7人の議員が代表質問を行いました。質問順に要旨を掲載します。
QRコードを読み取ると各議員の質問の様子が視聴できます。

代表質問



市長の政治姿勢
答 首長・市議ともに残任期1年となり、本市誕生20年を迎える年となる。山下市長の未来における持続可能なまちづくりの政策姿勢と決意を聞く。
問 令和7年度は合併特例債の発行期限を迎えるので、大型建設事業をしっかりとやりきることが重要である。

答 首長・市議ともに残任期1年となり、本市誕生20年を迎える年となる。山下市長の未来における持続可能なまちづくりの政策姿勢と決意を聞く。

問 令和7年度は合併特例債の発行期限を迎えるので、大型建設事業をしっかりとやりきることが重要である。

地域の現状、実情把握は

答 原油高・物価高に苦しみ、市民が豊かさを実感できていない状況に、人口減少、少子高齢化、空き家の増加や所有者不明土地、耕作放棄地など地域の把握、多くの課題は認識しているのか。総合型の窓口が必要ではないか。

問 地域の課題に的確に対応し、市民の生活を守り住み続けたいまちを実現するため、地域課題の把握はその原点である。

答 将来の大規模建設事業は、令和7年度まで実施する合併特例債事業の償還を行いながら、本市の財政状況を基に、確実な事業計画を立てて実施していく予定だ。

問 令和7年度当初予算についての群を抜く一般会計予算となつた。大型建設事業は今後やるのか、やれないのか。

答 令和7年度の最終年度で、合併特例債の最終年度であることから、今後のまちづくりを進める上で効率的な建設事業を計上した。

問 国に対する制度を変えていく相続放棄したい、国に渡したいという要望と、我々としてのアイデアで一步前に踏み出した思考など、いろいろな方法を考えたい。

答 大規模災害に備えた自主防災組織率と今後の課題は、5人に1人がなると言われている認知症を含めた介護問題、不要な公共施設の再配置の進捗状況について聞く。

答 自主防災の促進が喫緊の課題であり、組織率は78・5%であります。農業経営基盤強化促進法が改正され、「地域計画」が義務付けられた。農地一筆ごとに10年後の受け手を「目標地図」に落とし込み、農地の集積・集約化を目指し、話し合いを進める。

問 みとよでスマイル～持続と豊かさ～について聞く。

答 大規模災害に備えた自主防災組織率と今後の課題、基幹産業と位置付けられている農業の持続可能性について聞く。

○社会的孤独・孤立問題

○三豊市第2次総合計画後期基本計画における他の重点プロジェクト

原稿は質問者本人が書いています



「新しい地方創生について」
「地方創生」を10年前に開始して以降、全国各地で地方創生の取り組みが行われ、さまざまな好例が生まれた一方、人口減少や東京圏への一極集中の流れを変えるには至らなかつた。そこで、新たな地方創生2.0は、国は国では、国として挑戦しなければいけないことに取り組み、地方は「産官学金労言」から成る地域のステークホルダーが知恵を出し合い、他の地域の好例も学びつつ、自主的に取り組むことを趣旨に、令和7年夏から今後10年間集中的に取り組む基本構想を取りまとめた。

本市は令和7年度に合併特例債の発行期限を迎えることにより、議会としてもこの新たな施策を執行部が効果的に活用し政策実現を進められるか、注視していく。



内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局 参事官補佐
佐藤 弘康氏 菅沼 大喜氏

今回の議員研修会は「議会のデジタル化」をさらに進めるための取り組みとして、初めてオンラインで開催しました。これまでの対面型の研修会に代わって、通信技術を活用したオンライン形式とすることで、全国のさまざまな分野の講師による画面を通した講義と、双方向による意見交換を行う新たな試みです。

三豊市議会報告会

今年は市内3会場とオンライン(Zoom)で議会報告会を開催します!

【開催日程】

開催場所	日 時	出席議員
みとよ未来創造館 3階大ホール	5月11日(日) 14:00～	三木 秀樹 石井 勢三 湯口 新
財田町公民館 ホール	5月14日(水) 19:00～	横山 強 込山 文吉
仁尾町文化会館 多目的ホール	5月16日(金) 19:00～	三宅 静雄 西山 彰人 瀧本 哲史
開催場所	日 時	出席議員
オンライン(Zoom) ^{*1}	5月21日(水) 19:00～	岩田 秀樹 田中 達也 瀧本 哲史

報告会の様子は撮影を行い、後日映像を市議会YouTubeにて公開いたします。

参加者の顔が映らないよう編集等を行いますが、あらかじめご了承の上、ご参加ください。

*1 オンライン(Zoom)開催については、前日までに市議会事務局ホームページ(右のQRコード)から、お申し込みください。



*DX…デジタル技術を活用して、社会や生活の形を変えること
※国庫帰属制度…相続した土地を一定の要件を満たした場合に国が引き取る制度

自民創生会

石井勢三
議員

山下市政の特徴は、マスコミを利活用したパフォーマンス行政と、市の実情に合わない国策の実施だ

マスメディアで大々的に報道した各「実証実験」の成果はあったのか。次世代バス運行による人流データの取得、ドローンで医薬品配送、チャットGPTの「ゴミ出し案内」等すべて実験だけに終わった。前岸田内閣が推し進めたデジタル田園都市構想の三豊市「版」ベーシックインフラ事業は、もうやめないか。市内の企業が本当に「望んでいた」のか。来年度以降の「大幅な予算減少」含め、10年、20年先を見越した「棚卸し」の取り組みを「今年実施で無く」、今年は市長・議員の改選期で市民と対話が必然的に行われる。市民の声を「棚卸しに反映するため」1年延期すべきと思うがどうか。



▲三豊鳥坂インターチェンジ

夜間学級について

必要な方へ情報が届くよう努めている。学齢期の生徒に関しての問合せや相談が増えており、見学や体験入級の生徒が増加することも想定される。受入れ体制や施設面において、より充実した体制や環境を検討する必要があり、分校方式も含めて検討を重ねてまいりたい。

市内だけでなく、近隣自治体へも周知し、必

○教育について
・国際バカロレア教育の導入
・放課後改革

事務事業の棚卸しについて

令和6年に、より効率的で効率的に必要な事業を実施するために、事務事業の棚卸しに取り組むと述べているが内容が見えない。どのように取り組んだのか、内容と計画を伺う。



立憲(CDP)

三木秀樹
議員

試行錯誤ばかりの施策では、市民は判らん

指摘の実験は、環境の変化に合わせて柔軟に失敗を恐れず、よりよい方向にむけてのチャレンジだ。「ベーシックインフラ事業」は目に見える効果が表れていないが、将来に備える取り組みで、引き続き試行錯誤で行う。「棚卸し」は膨れ上がった歳出の抜本的見直しだ。延期すれば、将来に大変な事態が起きる可能性があり、何の問題も解決しない事もある。

吉田満著書で戦艦大和が片道切符で沖縄に向う特攻作戦前夜、「戦死の意義をめぐる」海兵隊と学徒隊員の論争を静めた若き将校の「戦死の意義と覚悟」の「ことば」を、市長は引用している。その中で「進歩の無い者は決して勝たない。負けて自覚めることが最上の道だ」。何が言いたいのか。進歩の無い者とは何か。

▲もう古い？まだ使える？
国策「三豊市ベーシックインフラ事業」

保育・子育て支援について

子ども家庭センター「なないろ」を設置し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を提供している。今後さらに取り組みを充実させることだが、具体的にどのような施策を検討されているのかを聞く。

新たに導入した子育て支援アプリの運用を開始する。電子母子健康手帳機能をはじめ、育児に関する情報提供や記録管理、予防接種スケジュールのサポート、イベント予約など子育て支援に関する機能を一元的に提供することで、子育て家庭の利便性向上と支援の充実を図る。また、令和7年度から、親子関係形成支援事業を新たに実施する。この事業は、子育てに悩み、不安を抱えている保護者が子どもとの関わり方を学ぶこと



で、親子の適切な関係性の構築を図り、安心して子育てできる環境を支援していく。

観光について

チエンジなど、ほかの選択肢も含めて検討していく必要があると考えている。現在、産業界からも機運が高まってきたものと感じており、この動きかけができないか伺う。

今後の要望活動においては、パーキングエリア等を活用したスマートインター

日本インバウンド観光は近年目覚ましい成長を遂げている。そんな中、今年3月に観光基本計画を策定する予定とあるが、計画を伺う。

計画内容については、「美しい自然が守られ、持続可能な観光地であることが重要な要素である。情報発信・マーケティング・食の魅力創出と磨き上げ・ソフト面とハード面の受入れ体制の整備など、必要な取り組みを盛り込み、具体的な形にしていく。

三豊市の火災について

三豊市の火災の現状と被害、また、被災者に応じて、市からのお見舞金や再建のための補助金等はないのか伺う。

焼損棟数は、令和4年26棟うち全焼10棟、令和5年21棟うち全焼6棟、令和6年33棟うち全焼10棟となっている。損害額は令和6年、2868万2000円と財産を損失している。火災による被災者に対する見舞金や補助金等の制度はないが、日本赤十字社香川県支部と香川県共同募金会において、住宅火災による被災者への支援として、見舞金等の支給制度がある。

何が言いたいのか。「戦艦大和ノ最期」を引用して、あくまでも私の「指針」と施政方針に記したのは

吉田満著書で戦艦大和が片道切符で沖縄に向う特攻作戦前夜、「戦死の意義をめぐる」海兵隊と学徒隊員の論争を静めた若き将校の「戦死の意義と覚悟」の「ことば」を、市長は引用している。その中で「進歩の無い者は決して勝たない。負けて自覚めることが最上の道だ」。何が言いたいのか。進歩の無い者とは何か。

皆さんが「いかように」感じても結構だが、それは「前に進むという意識がない者は駄目なんだ」が私の理解だ。

戦後80年の節目。議会の議事録に残したい。

観光、移住定住やコミュニティ組織について

戦略的な情報発信や、地域と連携した誘客促進事業を開拓することだが、具体的な取り組み内容について聞く。

観光施策を進める上で、情報発信は重要な役割を担っており、本年度策定を進めている第3次観光基本計画では、基本戦略の一つとして、ターゲットに合わせた情報発信、マーケティングを掲げている。本市は瀬戸内海や原風景の残る里山を有する魅力的な地域であり、ブランド力を生かした戦略的な情報発信を開拓することで、訪れる価値のあるまちとして認識をしていただけている。こうした地域の魅力を生かした観光誘客には、質の高いコンテンツ造成が不可欠となる。専門的な知見を持つ人材の活用や官公庁をはじめとする国の補助事業の活用を積極的に検討していく。

○その他質問

桜の木



湯口 新議員



施政方針について

自主防災組織を結成後、ほとんど活動していない組織もある。自主防災組織の「育成」をどう考えるのか。

答 資機材や備蓄品等の整備、防災訓練などに補助金を交付し、県の補助金などと併せて自主防災組織の育成を財政面で支援している。防災士の資格取得に対しても補助金を交付しており、防災士となり自主防災組織のリーダーとして活躍していただきたい。

問 高瀬駅の整備について。市長のイメージするパブリックスペースとは。

答 交流の場としての滞在スペースをイメージしている。鉄道利用者に限ることなく、広く開かれた地域コミュニティの場として整備を行う。限られた空間ではあるが、あらゆる世代の皆さまに快適にご利用いただけるよう取り組む。イメージ的には、たまれる場所。子どもたちが時間待ちであつたりとか時間を潰す、友達と話したりするというイメージ。ただ椅子とかというだけではなくいろいろなことに取り組んだりできるようなスペースができればいいなど、今の段階では思っている。JR四国と話しながら進める。

▲再整備にむけて解体工事が始まった高瀬駅
(整備工事は6月着工予定)

答 三豊市独自の取り組みであるみどりマネー部やメタバース部は持続可能か。

問 現在の活動形態のままではなく、本市が進めている放課後改革の活動へと移行することで継続していくのが、財源の確保が課題である。会費徴収も検討するが、放課後改革においては、今後の資金調達のためのファンディング型ふるさと納税などをクラウドファンディング型ふるさと納税など、寄附を財源としながら進めたい。

その他の質問を合わせ、計11問質問しました。

原稿は質問者本人が書いています

七宝会



為広員史議員



自主防災組織結成および非常用物資の備蓄について

自治会の自主防災組織の結成率および非常用物資の備蓄について聞く。

答 主防災組織は非常時においては即地即応ということで、地域をよく知っているからこそ細やかな対応ができるというメリットを持っている。一でも多くの自主防災組織が結成されるよう、自主防災組織の未結成地域の自治会総会等へ積極的に出向いて、意識改革を即し、結成に繋げていく。

問 次に、自治会の非常用物資の備蓄の有無について、自主防災組織に食料や資機材の購入に対して、補助率の2分の1、補助上限額10万円で補助金を交付している。

答 消防団屯所の整備の進捗状況と団員確保の現状について。

問 消防施設は三豊市消防団再編計画に基づいて整備しており、屯所、車庫の建て替えは、耐震基準を満たしていないものや耐用年数を超過したもので、地元において屯所の候補地があり、用地確保が容易なところから優先的に建て替えを行なっている。また、屯所の再編に合わせて各方面隊に1力所の防災センターを設置し、方面隊の活動拠点を整備することにしており、計画期間の終わりの時期となる令和14年以内に実施できるよう

に進めている。次に、団員確保については、令和7年1月1日現在で、市消防団は1091人の条例定数に対し、実員は1051となっており、充足率96・3%だが、県下の市町消防団の中でもトップクラスである。



▲三豊市消防団出初式

給食費の無償化について

問 子どもが平等に教育を受ける上で給食費の無償化は必要であると考えるが現在の状況は。

答 家計の状況などの影響で子どもの教育に支障が出ることのないよう、本市ではこれまでさまざまな施策を取り組んでいる。その中でも学校給食は、成長期にある子どもたちの健全な育成に資するだけでなく、食に関する知識や望ましい食習慣を身につける上で重要な役割を担っていると認識している。今後、国から示される小学校の給食無償化の方針について慎重に見極めるとともに、国の法制面に遅れることなく、内容を把握しさうには中学校給食の無償化も視野に検討していく。

○他の質問

- 河川の現状について
- 通学路の整備について
- 令和6年・7年の事務事業の棚卸しについて
- 街路灯や防犯灯の老朽化や水銀灯について
- 合併特例債について

視察に来てくださいました

[道の駅たからだの里さいたについて]
2月18日 高知県香美市議会
産業建設常任委員会

[夜間中学について]
1月21日 東京都板橋区、目黒区、豊島区議会
会派(各議会から1人ずつ来られました)
1月28日 長野県上田市議会
会派(公明党)
1月29日 広島県三次市議会
会派(明日への風・清友会)
2月12日 兵庫県三木市議会
会派(志誠会)

[こどもの居場所づくりについて]
2月19日 鳥取県米子市議会
会派(公明党議員団)

[みとよ市民病院建設事業について]
1月24日 奈良県大和高田市議会
会派(会派紺・日本維新の会)

[バイオマス資源化センターについて]
1月 8日 神奈川県厚木市議会
会派(あづぎの会)
1月 8日 京都府京丹後市議会
会派(政渢会)
2月13日 静岡県島田市議会
会派(輝く島田・創造島田・他1人)
2月18日 滋賀県彦根市議会
会派(公明党彦根市議団
他2会派)



*クラウドファンディング型ふるさと納税…寄附の使い道から、寄附先を選んでいくふるさと納税のこと

1月	2月	3月	4月
26日	25日	26日	27日
議会運営委員会 本会議	議案研究会 議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議
議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議
議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議
議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議
議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議	議会運営委員会 本会議



3月7日・10日の2日間に8人の議員が一般質問を行いました。質問順に要旨を掲載します。

コメ不足と農業政策について

生産性の向上には圃場整備が不可決と考える。現状と今後にについて問う。

市の圃場整備率は51%。合併時は、45%。承認されてからも完了まで相当長くかかる。理解頂きました。



金子辰男
議員



令和の米騒動は、日本の食料自給率を浮き彫りにした。今こそ三豊市の農業政策を変えるチャンスではないか。市の農業が衰退した要因と対策を問う。



▲道の駅でも米不足

食料自給率は香川県は34%。水稻の作付状況は10年前と比べ約3割減少。米価は、農家の後継意欲や再生産に影響を与える。今後はデーダ駆動型農業による収量の安定高品質化、作業の省力化を進め所得の向上、持続可能な産業を目指す。

稻の作付状況は10年前と比べ約3割減少。米価は、農家の後継意欲や再生産に影響を与える。今後はデーダ駆動型農業による収量の安定高品質化、作業の省力化を進め所得の向上、持続可能な産業を目指す。

三豊市で暮らす外国人、訪れる外国人について

三豊市に住んでいる外国人の人数、訪日外国人の人数を市は把握しているのか。外国人の生活保護受給者はいるのか。運転免許証保有者はいるのか。また子どもの人数、子どもの授業料はどうなっているのか。世界中どこも多文化共生社会は実現していない。

埼玉県川口市等の現状を勉強すべきではないのか。共生は難しい課題である。どう考えるか伺う。

市内には1392人。今後も増加傾向。訪日外国人の宿泊者数は966人。生活保護受給者は1人。就園・就学する子どもは34人。授業料は日本人と同じ。多文化共生への取り組みは困難を伴うものかもわからぬが、啓発を進め多文化共生社会の実現に向けて取り組みを進める。

先日救急搬送を依頼し、搬送先が決まるまで、1時間近くかかる事例が発生した。調べた結果、日本の医師の数は、先進国36か国中32位と、少ないことが判明。その結果、医師不足により、受け入れ先が決まるまでに時間がかかることが分かった。

本の医師の数は、先進国36か国中32位と、少ないことが判明。その結果、医師不足により、受け入れ先が決まるまでに時間がかかることが分かった。



西山彰人
議員



市においても深刻な課題である医師確保に努め、地域医療体制、救急体制の充実に努めていく。医師確保については、引き続き、機会に応じて、県あるいは国等に対しても要望していきたい。

市においても深刻な課題である医師確保に努め、地域医療体制、救急体制の充実に努めていく。医師確保については、引き続き、機会に応じて、県あるいは国等に対しても要望していきたい。

た。国の政策の結果なので、救急医療体制の充実を県と連携して、国に要望できないか伺う。

市においても深刻な課題である医師確保に努め、地域医療体制、救急体制の充実に努めていく。医師確保については、引き続き、機会に応じて、県あるいは国等に対しても要望していきたい。

救急医療体制について

三豊市には、まちづくり推進隊が関わる多くの事業があると思うが、すべての事業の棚卸しをして、市民説明をした上で、予算をカットすべきと思うがどうか。また、まちづくり推進隊が雇用する労働者が退職を余儀なくされているが、労働者の再就職をあっせんする立場はないものと考えている。

順位	国名	人口1,000人あたりの医師数
第1位	ギリシャ	6.1人
第2位	オーストリア	5.2人
第3位	ポルトガル	5.0人
第4位	ノルウェー	4.7人
第5位	リトアニア	4.6人
第6位	スイス	4.3人
第7位	ドイツ	4.3人
第8位	スウェーデン	4.1人
第9位	デンマーク	4.0人
第10位	イタリア	4.0人
第30位	アメリカ	2.6人
第31位	チリ	2.5人
第32位	日本	2.4人
第33位	メキシコ	2.4人
第34位	ボーランド	2.4人
第35位	韓国	2.3人
第36位	トルコ	1.9人

参考: 医療関連データの国際比較 2019

▲先進国中きわめて少ない医師数

事務事業の棚卸しに伴う事業内容の把握について

三豊市には、まちづくり推進隊が関わる多くの事業があると思うが、すべての事業の棚卸しをして、市民説明をした上で、予算をカットすべきと思うがどうか。また、まちづくり推進隊が雇用する労働者が退職を余儀なくされているが、労働者の再就職をあっせんする立場はないものと考えている。

三豊市には、まちづくり推進隊が関わる多くの事業があると思うが、すべての事業の棚卸しをして、市民説明をした上で、予算をカットすべきと思うがどうか。また、まちづくり推進隊が雇用する労働者が退職を余儀なくされているが、労働者の再就職をあっせんする立場はないものと考えている。

学校給食に友好都市の農産物導入を

三豊市には、まちづくり推進隊が関わる多くの事業があると思うが、すべての事業の棚卸しをして、市民説明をした上で、予算をカットすべきと思うがどうか。また、まちづくり推進隊が雇用する労働者が退職を余儀なくされているが、労働者の再就職をあっせんする立場はないものと考えている。



水本真奈美
議員



災害時の罹災証明書発行について

災害発生後、公的支援を受けるためにはまず必要な罹災証明書の発行が求められる。本市の発行体制は整っているのか。

災害時に自治体が発行する証明書は罹災証明書と被災証明書の2種類ある。両証明書とも、要綱・マニュアル整備ができておらず、今般の国の統一様式に合わせ要綱を整備し令和7年度より施行する。税務課で両証明書を二元化して取り扱い、ホームページで申請手続きなど周知掲載していく。発行の流れは市民より申請・受付を行い、被害状況調査の上、被害程度を6区分に判定し罹災証明書発行となる。業務は膨大かつ多様になるが、さまざまテクノロジーも活用して迅速に発行できるよう取り組む。

認知症になつても安心して暮らせる地域づくりについて

介護の現場は、苦労や諦め、義務感といった厳しい現実がある。ユーモラス

マニユード介護ケア技術を実証実験した自治体では、暴言や徘徊などの軽減や介護者の負担軽減が図られ、認知症対策として導入している。ユマニユードの普及の考え方を伺う。

ユマニユード技術の考え方を取り入れた研修や講座について導入自治体の事例も参考に検討する。二ユードの普及の考え方を伺う。

認知症対策として導入している。ユマニユード技術の考え方を伺う。

認知症対策として、GPS端末の活用やQRコードシールの取り組みの考え方を伺う。

認知症対策として、GPS端末の活用やQRコードシールの取り組みの考え方を伺う。

認知症対策として、GPS端末の活用やQRコードシールの取り組みの考え方を伺う。



岩田秀樹
議員



学校給食に友好都市の農産物導入を

友好都市提携している自治体の農産物などを学校給食に導入する取り組みを行ってはどうか。

先日、友好都市である北海道洞爺湖町との農業振興交流が行われた。友好都市交流を行っているが、農産物の交流を行うことにより相手の姿が小学生・中学生にも見えるのではないか。さまざまな取り組みの中で、自治体間の交流、生徒と生産者との交流などが進み、広い視野も持つことができるのではないか。

友好都市の農産物を使った学校給食については、現在取り組んでいる、学校給食を通じて食への関心を高め、食事の楽しさを感じ取ることを目的とした取り組みが、まさに合致している。学校給食における農産物の交流は、洞爺湖町との結びつきをさらに深めることにつながると考える。

高齢者の地域の移動手段確保対策はどうか

市民の暮らしを支える最も重要な要素は「移動」である。今後の地域交通の課題解決に向けて、どう取り組むのか。EV無人バスの検証も必要かもしれないが、免許証返納者の利用するバスの利用についても深く検討が必要ではないか。

県内の自治体では、移動手段の確立対策として、デマンド型乗り合いタクシーをはじめとしてさまざまなもので、公共交通機関の運行を充実させていく。今後の人口減少が見込まれる高齢化の進展の中で、高齢者だけの家族となつた時、どのような対応をしている。

市民向け、またコミュニティバスの従来とバスの従来とは違う利便性の充実についても、今までの価値観にとらわれることなく充実していきたい。

※ユマニユード…フランス発祥のあなたを大事に思っていることを相手に理解できるように届けるケア技法

※デマンド型乗り合いタクシー…利用者から予約があった場合のみ運行する乗り合いタクシー



▲産業用太陽光発電システム

太陽光発電システムの課税について

太陽光発電システムは一酸化炭素を排出しない発電方法だ。民間では発電量があらかじめ試算されるため借入金の償還が立てやすいこと等で、10kW以上の産業用のシステムが多く設置されている。産業用のシステムは課税対象になるのに、課税漏れが多くあると聞くが適正に課税されているのか。これまでの経緯や不公平解消に向けての取り組みを問う。

詫間政司 議員

問 岁入確保とその運用を目的とした、ファイナンス機能を有する組織創設という組織改革による意識改革について

答 組織改革は、すぐ検討することは難しいが、税務部門、財政部門、管財部門で連携を図っていくことは重要だ。職員が本市の財政状況を意識して業務を実施していくよう、意識改革に努める。

問 太陽光発電システムの課税について

太陽光発電システムは一酸化炭素を排出しない発電方法だ。民間では発電量があらかじめ試算されるため借入金の償還が立てやすいこと等で、10kW以上の産業用のシステムが多く設置されている。産業用のシステムは課税対象になるのに、課税漏れが多くあると聞くが適正に課税されているのか。これまでの経緯や不公平解消に向けての取り組みを問う。

詫間政司 議員

問 天災・人災の取り組みを伺う。

答 今三豊市の市道の空洞化調査については早急に対応する。避難訓練、避難行動については、もう少し細かい家族や個人とか、という部分の対応については議員ご指摘のところ十分理解できるので、そういうケースを想定して、今後の訓練の対応については一考していただきたい。

問 有事が発生した場合の政策を伺う。

答 市民の命を守るシェルターを整備する政策の必要性については、本当の意味で市民の命を守るために、強固なシェルターも考えなければならない。

問 今後、三豊市政の食料安全保障の政策を伺う。

答 議員ご指摘のとおり重点的に支援を行い、大数を占める兼業農家や定年帰農者に対する

問 有事が発生した場合の政策を伺う。

答 市民の命を守るシェルターを整備する政策の必要性については、本当の意味で市民の命を守るために、強固なシェルターも考えなければならない。

問 今後、三豊市政の食料安全保障の政策を伺う。

答 議員ご指摘のとおり重点的に支援を行い、大数を占める兼業農家や定年帰農者に対する

▲ 有事防災に必要なシェルター

問 今年度に入り太陽光発電システムの課税状況について大規模な調査を実施した。その結果法人が260社、個人が517者の計777者だった。このうち法人の申告調査をしたところ、未申告が140社の54%であることが判明した。正しく申告し納税している方との公平感には大きな問題がある。この事実を受け、新たに課税し増収につなげている。個人は、517者のうち85%にあたる440者が未申告だ。公平性の観点からも課税の取り組みを個人に拡大する。

問 今年度に入り太陽光発電システムの課税状況について大規模な調査を実施した。その結果法人が260社、個人が517者の計777者だった。このうち法人の申告調査をしたところ、未申告が140社の54%であることが判明した。正しく申告し納税している方との公平感には大きな問題がある。この事実を受け、新たに課税し増収につなげている。個人は、517者のうち85%にあたる440者が未申告だ。公平性の観点からも課税の取り組みを個人に拡大する。

問 管財課長が総務委員会委員に虚偽説明した委員会記録

▲ 管財課長が総務委員会委員に虚偽説明した委員会記録

問 デジタルデバイド対策を強化し、デジタルと窓口対応への二重投資をいかに小さくするかが重要ではないか。

答 デジタルに不慣れな方でも意識することなく行政手続全般でデジタルツールを活用できる環境の整備を進めるとともに、1人でも多くの市民がデジタルツールを積極的に活用できるよう、啓発活動の推進に注力したい。

問 小中学校の校則見直しの必要性

問 合理性のない校則について、改善を求める声が多い。特にツーブロック禁止などの校則について、見直しが必要ではないか。

問 デジタルデバイド対策を強化し、デジタルと窓口対応への二重投資をいかに小さくするかが重要ではないか。

答 デジタルに不慣れな方でも意識することなく行政手続全般でデジタルツールを活用できる環境の整備を進めるとともに、1人でも多くの市民がデジタルツールを積極的に活用できるよう、啓発活動の推進に注力したい。

問 小中学校の校則見直しの必要性

問 合理性のない校則について、改善を求める声が多い。特にツーブロック禁止などの校則について、見直しが必要ではないか。

問 天災・人災に対する防災と食料安全保障の取り組みについて

答 食料安全保障の取り組みについては、議員ご指摘のとおり十分理解できるので、そういうケースを想定して、今後の訓練の対応については一考していただきたい。

問 有事が発生した場合の政策を伺う。

答 市民の命を守るシェルターを整備する政策の必要性については、本当の意味で市民の命を守るために、強固なシェルターも考えなければならない。

問 今後、三豊市政の食料安全保障の政策を伺う。

答 議員ご指摘のとおり重点的に支援を行い、大数を占める兼業農家や定年帰農者に対する

▲ 有事が発生した場合の政策を伺う。

問 有事が発生した場合の政策を伺う。

答 市民の命を守るシェルターを整備する政策の必要性については、本当の意味で市民の命を守るために、強固なシェルターも考えなければならない。

問 今後、三豊市政の食料安全保障の政策を伺う。

答 議員ご指摘のとおり重点的に支援を行い、大数を占める兼業農家や定年帰農者に対する

▲ 有事が発生した場合の政策を伺う。

問 市民の税金が財源となる有価物の取り扱いに対する虚偽の問題を伺う。

答 市が買い取り業者へ売却して収入とすることで、これまでの無駄遣いを反省して、財源の有効活用に努めるとの発言に対して、業務の中止を行ったにもかかわらず、提案者に対する議員に対して報告がなかったことは深くお詫び申し上げる。今後、解体後の有価物は令和6年3月に答弁した手法に見直し、財源の有効活用する。

問 MitoPayの普及率を把握するため、世帯普及率の詳細な調査を実施し、世帯代表者が世帯全員分の申し込みを行えるよう世帯情報の紐付けにより、新規普及促進の可能性が広がることを確認する。

問 世帯情報の紐付けにより、新規普及促進の可能性が広がることを確認する。

MitoPayに世帯情報紐付けるサービス向上を

問 MitoPayの普及率を把握するため、世帯普及率の詳細な調査を実施し、世帯代表者が世帯全員分の申し込みを行えるよう世帯情報の紐付けにより、新規普及促進の可能性が広がることを確認する。

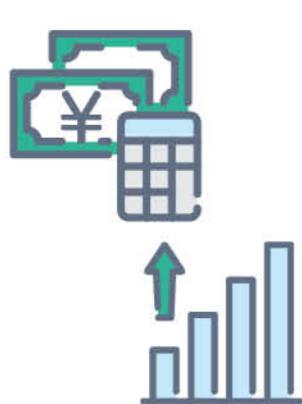
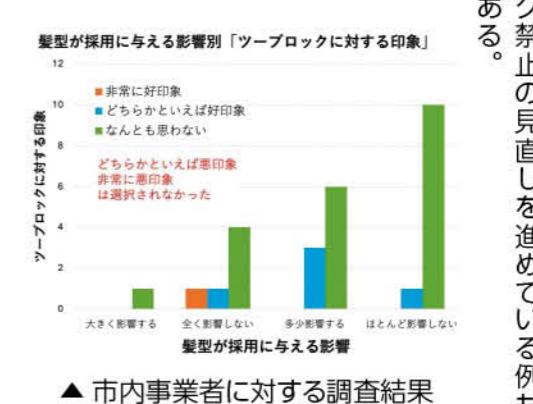
横山 強 議員

MitoPayに世帯情報紐付けるサービス向上を

問 MitoPayの普及率を把握するため、世帯普及率の詳細な調査を実施し、世帯代表者が世帯全員分の申し込みを行えるよう世帯情報の紐付けにより、新規普及促進の可能性が広がることを確認する。

田中達也 議員

問 児童・生徒の意見を尊重し、社会環境や社会情勢に照らして適宜見直しを図る。市内中学校では、生徒会で話し合い、ツーブロック禁止の見直しを進めている例もある。



|| その他の質問 ||

- 地域の人事部
- みとよ市民病院
- (一社)みとよ交通システム事業団
- M-LIAIS



委員会審査

総務常任委員会

3月3日開催の総務常任委員会には、10議案が付託され、審査した。

栗島グリーンストローモビリティ乗車を市民以外も1回100円に



委員会の様子は
こちらから

主な質疑と答弁

一般会計補正予算(第6号)中の関係部分

問ふるさと納税の推移はどうなっているのか。

答 寄附実績が1月末で約11億3500万円であり、3月末まで総額12億5000万円を見込んでいる。

問 トイレカーの購入について、平時はどのように使う予定なのか。

答 防災訓練やイベント等での活用を考えている。



▲全避難所に配備予定の自動ラップ式簡易トイレ

教育民生常任委員会



委員会の様子は
こちらから

主な質疑と答弁

一般会計補正予算(第6号)中の関係部分

問 健康課の繰越明許費。保健センター管理事業について追加工事の発生で工事までに工事ができなくなつた内容は。

答 空調設備の改修の中で、天井裏の配管を天井の一部を剥がしてやり替える作業で、一部の箇所については点検口から工事ができると見込んでいたが、形状や強度の関係により、そこも天井を一部剥がす必要が生じたため、1週間から2週間程度の工期の延長が必要となつた。完成は4月9日を現在予定している。

問みとよ市民病院の病床利用率が予想していたより低かった原因は、

答 入院患者の死亡が重なった後に、十分な入院患者が確保できなかつた時期が比較的長く続いたことが一つの大きな要因である。また、救急医療で市民が求めている受け入れが十分にできなかつた。そのため、医師勤医師が増える予定となつていています。

病院事業会計補正予算(第3号)

○附帯決議とは?



令和6年度三豊市病院事業会計補正予算(第3号)に対する附帯決議

三豊市公立病院経営強化プランは、令和5年度に三豊市立みとよ市民病院と三豊市立西香川病院の経営健全化に向けて経営改善を行うために策定された。

その効果は部分的に見受けられるものの、みとよ市民病院において赤字経営が続いているおり、令和6年度経営強化プランと実績(見込み)を比較しても当年度純損益約1億8千万円の差異がある。

その状況下で開院以来3回目の三豊市一般会計からみとよ市民病院への貸付けを求めている。

このまま、三豊市一般会計からの貸付けが常態化されるようなことがあれば、三豊市民への影響も小さくないと考える。

経営の健全化に向かうよう、次のとおり強く要望し決議する。

記

1. 三豊市公立病院経営強化プランみとよ市民病院編に対して、効果的かつ現実的な視点からの修正を行うことも視野に入れ、令和8年度予算に反映させることを求める。
2. 経営の改善により、経営健全化に向かい、市民に対して信頼を得られる病院であり続けるためにも、議会への説明をこれまで以上に求める。

令和7年3月5日

教育民生常任委員会

市民建設常任委員会

3月4日開催の市民建設常任委員会には、10議案が付託され、審査した。

三豊市財田町土づくりセンター条例の廃止について



委員会の様子は
こちらから

主な質疑と答弁

一般会計補正予算(第6号)中の関係部分

問 今回の補正は、ほとんどが精算による減額補正と思われるが、この補正で市民サービスの低下などは起きたないという認識で間違いないか。

答 3月補正の作成にあたっては、予算不足になることがないよう、十分注意をして積算しているので、市民サービスの低下が起ることはないと考えている。

問 土木費で多くの減額補正があるが、今年度以降に計画している工事の設計を行つななど減額補正が発生しないよう、予算執行することはできなかったのか。

答 予算編成時の概略設計から、詳細設計をした際に発生した減額である。大規模な工事は2月や3月までの工期が多く、そこから新たな工事の発注等で予算を執行することは難しく、減額補正となつた。



▲3月末で廃止となった財田町土づくりセンター

問 今月いっぱいに施設を廃止することだが、利用していた人たちに不便は与えないという理解でよいのか。

答 廃止に当たって、事前にJAと共に利用者6名に対して訪問して説明し、堆肥の供給先や処理施設等の検討をお願いしてご理解を頂いているので、ご不便を与えることはない。

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

総務常任委員会

3月3日開催の総務常任委員会には、10議案が付託され、審査した。

主な質疑と答弁

一般会計補正予算(第6号)中の関係部分

問ふるさと納税の推移はどうなっているのか。

答 寄附実績が1月末で約11億3500万円であり、3月末まで総額12億5000万円を見込んでいる。

問 トイレスリーの購入について、平時はどのように使う予定なのか。

答 防災訓練やイベント等での活用を考えている。

委員会では担当する分野について研究するために、他の先進的な取り組みを調査し、市政の発展に反映できるよう努めています。
視察の研修内容をご報告します。

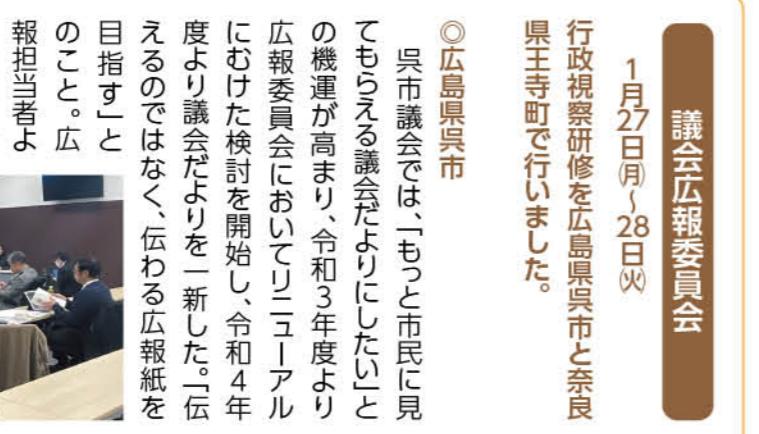
視察研修報告

◆ 一般会計予算
◎ 広島県大竹市議会 常任委員会政策研究会の取り組みほか
大竹市議会では、常任委員会の取り組みとして協議会・政策研究会を設置し、議員相互間の討議の場が整備されていた。また、今年度の議会報告会は、市域で活躍する13団体を対象として9会場で実施する等、多様な声を聞くための新たな方法に取り組まれていた。開か

◆ 一般会計予算
◎ 広島県三次市議会 予算決算常任委員会の取り組みほか
三次市議会では、予算決算常任委員会を設置して審査を通年化し、資料の充実により各種事業の見える化を進める等、審査体制の整備に取り組まれていた。また、主権者教育の取り組みでは、広報広聴常任委員会を主体に、高校・中学校との意見交換会を開催し、議会基本条例の検証では、独自の評価シートの見直しを進める等、任期中の議会・議員活動の検証体制の整備に取り組まれていた。



▲浜田市議会での研修の様子



▲呉市議会での研修の様子

◆ 一般会計予算
◎ 岡山県岡市議会 予算決算常任委員会の取り組みほか
岡市議会では、「もっと市民に見てもらえる議会だよりにしたい」との機運が高まり、令和3年度より広報委員会においてリリース・アールにむけた検討を開始し、令和4年度より議会だよりを一新した。「伝えるのではなく、伝わる広報紙」を目指す」とのこと。広報担当者は「工夫等、さまざまアドバイスを受けた。



※SNS…ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。インターネット上で交流できるサービスのこと

3月11日・12日・13日・14日・18日と予算特別委員会を開催し、令和7年度一般会計予算など計11議案の審査を行いました。



委員会の様子は
こちらから

◆ 主な質疑と答弁

◆ 一般会計予算

問 三農ベーシックインフラ整備事業について、市内企業と連携した共助サービスの展開が目的だが、企業の認知は進んでいるのか伺う。

答 4社でコンソーシアムを組成してデータ連携基盤を運営し共助サービスの展開を検討している。まだ市内企業の認知は進んでいない状況であるため、ベーシックインフラの考え方を普及し、この事業への参加企業数を増やしていきたい。

問 自治会集会所建設事業費補助金について、申し込みしている自治会の全てが補助の対象になるのか伺う。

答 自治会集会所の建設では市補助金とコミュニティ助成事業により支援を行っているが、コミュニティ助成事業の採択結果では抽選となることもあります。

総務部関係

問 自治会集会所建設事業費補助金について、申し込みしている自治会の全てが補助の対象になるのか伺う。

答 4社でコンソーシアムを組成してデータ連携基盤を運営し共助サービスの展開を検討している。まだ市内企業の認知は進んでいない状況であるため、ベーシックインフラの考え方を普及し、この事業への参加企業数を増やしていきたい。

問 中山間地域では、農地を管理す

問 中山間地域等直接支払制度がある農業委員会としては土地改良課、チエックで荒廃とされる。中山間地域の農業などをどのように守っていく考えが伺う。

答 引き続き農地の流動化を進める。また、中山間地域の農業を守るために中山間地域等直接支払制度がある農業委員会としては土地改良課、チエックで荒廃とされる。中山間地域の農業などをどのように守っていく考え方を普及し、この事業への参加企業数を増やしていきたい。

ただで精一杯の土地が多くある。所有者が維持できず放置された農地は農地利用最適化推進委員のチエックで荒廃とされる。中山間地域の農業などをどのように守っていく考え方を普及し、この事業への参加企業数を増やしていきたい。

問 所有者が維持できず放置された農地は農地利用最適化推進委員のチエックで荒廃とされる。中山間地域の農業などをどのように守っていく考え方を普及し、この事業への参加企業数を増やしていきたい。

問 中山間地域等直接支払制度がある農業委員会としては土地改良課、チエックで荒廃とされる。中山間地域の農業などをどのように守っていく考え方を普及し、この事業への参加企業数を増やしていきたい。

ただで精一杯の土地が多くある。所有者が維持できず放置された農地は農地利用最適化推進委員のチエックで荒廃とされる。中山間地域の農業などをどのように守っていく考え方を普及し、この事業への参加企業数を増やしていきたい。

問 これまでクラウドファンディングを通して野良猫等の対策に取り組んできている。令和6年度は、当初から予約が殺到したが前年度に比べ多くの手術を実施したため、令和7年度では当初から予約が殺到しないと考えている。

問 老朽危険空き家について、安定的に効果的で安全な利用体制の確立に向けて研修を行っている。高齢者訪問は重要な役割であり、民生委員のみならず地域の方々や介護包括関係者と訪問する場合もあり、地域で丸となって見守り等を行っていく考え方である。民生委員のうち20年以上務めている人は5人である。

問 老朽危険空き家除却事業は、広報紙や防災行政無線等で広報活動を継続して実施していく。人口減少に伴い空き家数が増えることが想定されるため、関係自治会長や市民からの情報提供に対して迅速な対応により市民の不安の払拭に努めていく考えである。

問 教育委員会について、これまでの解決に向けどのような検討してきたのか伺う。

答 教育委員会は、制度や役割などについて研修を行っている。高齢者訪問は重要な役割であり、民生委員のみならず地域の方々や介護包括関係者と訪問する場合もあり、地域で丸となって見守り等を行っていく考え方である。民生委員のうち20年以上務めている人は5人である。

問 公園の遊具整備について、二一ツを計画したものである。他の公園については、現有遊具の点検や修繕を行うとしていたが、令和7年度予算にどのように反映しているのか伺う。

問 遊具について予算計上している。利用者の二一ツや遊具数により設置を

しを伺う。
答 初日の見込みに比べ利用が少ないが、令和7年度からナ�이터設備を把握し必要な遊具は更新、維持するとしていたが、令和7年度予算に

ある人工芝コート1面を活用することで、使用料の増額に努める。

◆ 総括質疑関係

問 3月11日・12日・13日・14日・18日と予算特別委員会を開催し、令和7年度一般会計予算など計11議案の審査を行いました。

問 3月11日・12日・13日・14日・18日と予算特別委員会を開催し、令和7年度一般会計予算など計11議案の審査を行いました。

問 宝山湖公園について、グラウンド等の整備が進んでいるのに使用料が見込みより減っている。今後の見通

問 宝山湖公園について、グラウンド等の整備が進んでいるのに使用料が見込みより減っている。今後の見通



▲公園に設置された遊具

以上、名議案とも慎重な審査により、原案のとおり可決した。



※コンソーシアム…共通の目的を持つ複数の組織が協力して結成する共同体

防災訓練 地震に備えて

3月定例会中の本会議終了後、防災訓練を実施しました。

安全確保

本会議中に大地震が発生した想定でシェイクアウトを実施。議場にいた議員や職員が「姿勢を低く、頭を守り、動かない行動」により、安全確保の訓練を実施しました。



▲その場で姿勢を低くし安全確保

設置体験

避難所用の簡易仕切りやベット等の設置を体験しました。



▲プライバシー確保のための簡易仕切り

安否確認



▲通知システムの操作方法を確認

議員通知システムを使って、議員自身の安否を知らせる訓練をし、非常時に支障なくシステム操作できるように確認しました。

市内中学生が議会を傍聴

主権者教育の一環として3月定例会では高瀬中学校2年生の皆さんが傍聴に訪れました。Vol.1



感想/ とても言葉が難しかったけど、一人一人が三豊市を良くするために真剣に考えていてすごいと思った。



感想/ 男性の議員が多かった。もっと女性の議員が増えてほしい。



感想/ 今私たちが住んでいる社会には特に問題がないように見えるけど、本当は見えない問題がたくさんあるということを感じました。

